

災害時要援護者
避難支援ガイドライン
準拠

Excel上で動く GIS避難支援システムのご提案

GIS shelter support system based on Microsoft Excel™, presented by AJU center for Independent living

社会福祉法人AJU自立の家

災害時要援護者台帳をパソコン上で効率よく管理
発災時には即座に安否確認や個別支援のツールとして稼働

Excelと同じ操作感覚のツールバー

任意のピクで視覚的に表示

お手持ちのデータから地図生成

地点検索

地図とExcelデータの相互検索可能

要援護者と支援者のマッチング

リスト検索

Excelならではの検索・抽出

特長

簡単操作...Excel が使える人なら簡単に操作できます

拡張性...要援護者台帳の項目を増やしたり、ハザードマップ等を追加できます

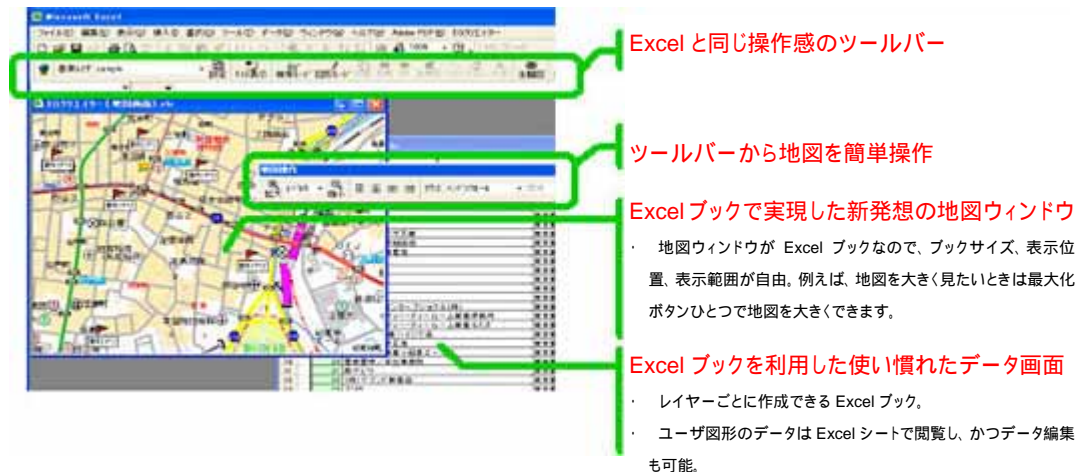
災害現場に強い...ノートパソコンで動くので、場所を選ばず、即座に稼働

平常時にも活躍...日頃の防災訓練や避難訓練に生かすことができます

万全のセキュリティ...情報漏洩に対する万全な対策

特長 簡単操作

Excel が使える人なら簡単に操作できます



- データ更新が容易。異動により担当者が交替しても安心です。
- 中越地震の時には、京大の研究チームと地元の GIS 業者が、大規模なシステムを提供して支援を展開しました。専門家(業者)がいて初めて運用が可能なシステムだったわけですが、支援システムは素人でも扱えるシステムでなければいけません。
- Excel ベースの GIS 避難支援システムなら、必ずしも GIS を知らない人でも直感的に使えます。地元の人々の経験と特技、ノウハウを生かして安否確認や支援にあたることができます。

特長 拡張性

システム構築後もデータベースの拡張が可能です

- 「地域支援者」欄を追加したり、「安否情報」「避難先」情報を新たに追加するなど、必要に応じて台帳の項目を増やすことが可能です。
- 現在お持ちのデータ(例えば、住所付き顧客情報、緯度・経度、施設情報など)を簡単に取り込み、地図上へ展開することができます。

(CSV 形式・Access 形式・その他区切り文字付きテキスト形式)

- Excel 上のデータをもとに地図上にグラフ化したり、テキスト表示したり、メッシュ単位で色分け表示することができます。
- ハザードマップや DIG の検証結果等をレイヤーとして追加できます。
- 各県の統合型 GIS や電子国土等と連携して、被害情報マップ等を Shape 形式でやりとりできます。
- Excel ならではの柔軟なレポート作成機能により、支援の局面に応じて、素早く図面や台帳(個票)を印刷したり、PDF で配布することもできます。



特長 災害現場に強い

即座に安否確認や個別支援のツールとして稼働



- ▶ 発災時、停電やネットワークの障害があっても、ノートパソコン単体で動くシステムなので、場所を選ばず、即座に安否確認や個別支援のツールとして稼働します。
- ▶ 支援の拠点ごとにデータを分散することができ、災害時要援護者の支援に威力を発揮します。
- ▶ 安否確認や個別支援の過程で得た情報を素早く記録し、必要な情報を切り出したり、吐き出したりして、支援者への情報提供が可能。
- ▶ 災害支援の現場で求められるスピード感や支援エリアの伸び縮み、時系列での情報の整理にストレスなく対応できます。

特長 平常時にも活躍

日頃の防災訓練や避難訓練に生かされます

- ▶ 自主防災会や防災ボランティア、障害当事者団体に、DIG(災害図上訓練、写真上)や実地調査(写真下)を通して、生きた情報を入れてもらうことができます。
- ▶ 例えば、実地調査では、写真撮影と同時にGPS緯度経度情報を追記させることで、危険箇所のチェックや避難経路を確認した結果をデータベースに反映させることができます。私有地や田んぼの中などの道ではない安全な経路や、道であっても歩行困難者には通れない経路情報など、地元ならではの知恵を生かすことができます。
- ▶ 地域住民の参加により防災マップを自主制作すれば自助共助の防災意識の啓発につながります。また、再利用可能なデータとして残すことで、ノウハウの蓄積継承に役立ちます。



特長 万全のセキュリティ

情報漏洩に対する二重三重の対策

- ▶ 個人情報扱うシステムだからこそ情報漏洩に対する万全な対策。
- ▶ BIOS レベルから、Windows ログイン時、システム起動時、各レベルでパスワードチェックとアクセス制限を実現します。
- ▶ USB メモリによるデータの読み書きに対しても、厳格な制限をかけ、万一なくとも暗号化されているので流出を防止します。

平常時

地域住民、自主防災会

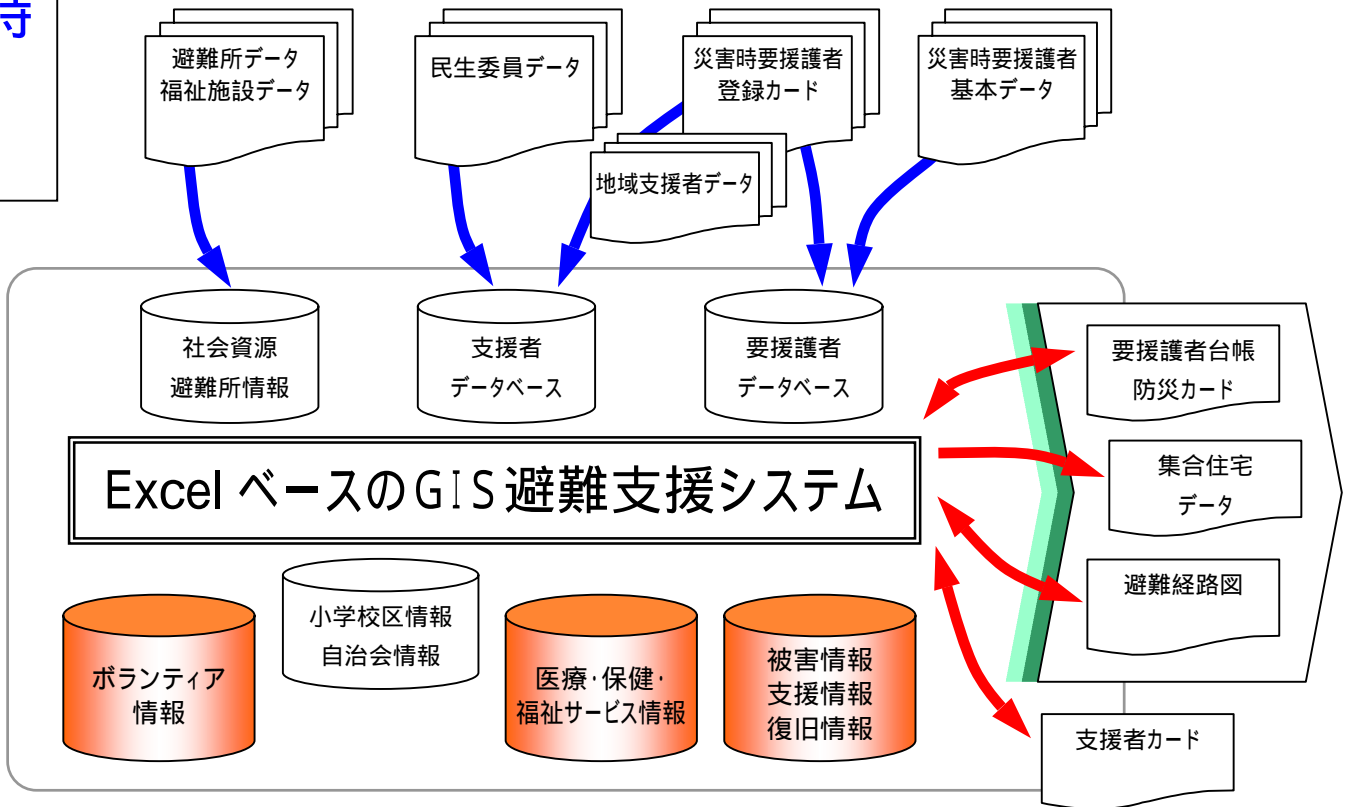
- DIG、実地調査...危険な経路、安全な経路の確認
- 避難訓練...地域支援者、民生委員が災害時要援護者と合流して避難

要援護者台帳の更新

- 年1回、郵送、ファックス、メールの送付、および避難支援プログラムへの参加を通して更新

福祉施設、サービス事業所等との事前協定

- 利用者の安否確認、情報提供、福祉避難所の指定



災害時

要援護者の避難誘導、安否確認

- 事前の取り決めに基づき地域支援者による避難誘導
- 福祉サービス事業所より利用者の安否情報の提供を受け集約
- 安否確認の取れない要援護者をリストアップ、地域支援者や外部支援者とマッチング
- 要援護者の安否情報と避難情報の収集
- 個別ニーズを収集しつつ、個別支援、こころのケアを実施
短期間に一気に処理(1~2日で8割以上を収集)
場合によっては支援拠点の分散、ノウハウとマンパワーの集積した福祉サービス事業所への委託

避難所(医療機関)情報、避難者相談情報

- 一次避難所、福祉避難所の開設・受入情報を登録
- 相談窓口の開設、県や専門機関等への応援要請、相談内容と支援をセットにして情報集約

被害情報、支援情報、復旧や復興に向けた情報

- 自衛隊の展開、配食・風呂・仮設トイレに関するリアルタイム情報
- ボランティアの受入、マッチング、派遣支援、福祉サービスの継続(BCP)
- 仮設住宅や復興支援に関する情報

お問い合わせ先 社会福祉法人A J U自立の家 TEL 052-841-9888
わだちコンピュータハウス 防災企画グループ FAX 052-841-3788
〒466-0025 名古屋市昭和区下構町 1-3-3 bousai@aju-cil.com

被災者の声をもとに、障害当事者の立場からご提案